



スマートメータリングシステム

コンセントレータ SMS-CR2 (PLC／無線)

施工説明書

大崎電気工業株式会社

2023年05月30日

No.	日付	種別	内容(新・旧)
1	2019/10/01	初版	-
2	2021/01/28	a版	2. 施工上のご注意(2)PLC方式(P8)下から8行目。 PLCの通信距離について修正。
3	2023/05/30	b版	4-4-1. 付属アンテナ外形寸法図追加
-	-	-	-

種別：改訂／補足追記／誤記訂正

目次

1. 安全上のご注意	5
◆ 本書での記号の意味（損害の程度）	5
◆ 図記号の意味	5
◆ 施工上の注意事項	5
◆ 使用上の注意事項	6
◆ 設置場所の注意事項	6
◆ 保守・点検・廃棄上の注意事項	6
◆ 運搬・保管上の注意事項	7
2. 施工上のご注意	8
(1) 共通事項	8
(2) PLC 方式	8
(3) 無線方式	9
3. 保証	9
(1) 保証期間	9
(2) 保証範囲	9
(3) 生産中止後の取扱い	10
(4) 有償業務の範囲	10
4. SMS-CR2 基本仕様	11
4-1. SMS-CR2 (PLC) 基本仕様	11
4-2. SMS-CR2 (無線) 基本仕様	12
4-3. 各部名称と LED 表示	13
4-4. 外形寸法図	16
4-4-1. 付属アンテナ	17
5. 施工説明(手順⑤までは PLC 方式および無線方式共通)	18

この度は弊社スマートメータリングシステムをお求めいただき、誠にありがとうございます。本施工説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本施工説明書と保証書は大切に保管し、必要なお読みください。この施工説明書は、スマートメータリングシステムのコンセントレータ「SMS-CR2」の施工説明書です。他の製品に関しては別の施工説明書をご覧ください。

- ◆ ご使用前に本書を必ずお読みください。
- ◆ 記載の内容は、改善・改良のため、予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。
- ◆ 説明内容に関し、お客様ご自身で判断できない場合は、必ず弊社までお問い合わせください。お客様ご自身での設定等による不具合、損害の責を当社で負うことはご容赦願います。
- ◆ 本書の内容を無断で転用することは禁止されています。

1. 安全上のご注意

ご使用になる前に『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここで示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表示とその意味は次のようになっています。

◆ 本書での記号の意味（損害の程度）

表 示	表 示 の 意 味
 危険	回避しないと、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。
 注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況、及び物的損害のみの発生を招くおそれがある場合を示します。

物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を意味します。

◆ 図記号の意味

図 記 号	図 記 号 の 意 味
	⚠は警告を示します。 具体的な内容は、⚠の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	ⓘは強制（必ずすること）を示します。 具体的な内容は、ⓘの中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「一般的な使用者の義務的な行為」を示します。

◆ 施工上の注意事項



危険



専門業者

- 電気工事は有資格者（電気工事士）が行ってください。工事に不備があると、火災や感電などの事故の原因となります。



施工説明書確認

- 配線工事を行う時には、必ず本書を読んで、それに従ってください。感電などの事故や負荷機器の物的損害等の原因となります。



確認

- インパクトドライバーを使用しないでください。
- 機器内に埃や塵などが混入しないように十分確認してください。誤作動・故障の原因となります。
- 無線通信時に遮蔽物となる金属物を直近配置しないようご注意ください。
- 突起物で傷をつけたり、クギで刺したり衝撃を与えたりしないでください。感電、火災、破裂などの事故や本体の故障の原因となります。

◆ 使用上の注意事項



- 説明書記載の定格範囲内でご使用ください。
- 機器に接続されるケーブル類を強く引っ張らないでください。また、ケーブルは、市販のケーブルクランプなどで固定してください。
- 端子カバーは必ず取り付けてください。端子や電線に直接触れて、感電事故の原因となるため大変危険です。
- 植込み型医療機器等を使用している人は、相互の機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼすおそれがあります。

◆ 設置場所の注意事項



- 次のような場所での設置・使用をしないでください。このような環境で使用した場合、誤動作、寿命低下、事故、故障などの原因となり、外観上に問題が見られなくても、機能・性能に影響を与えている可能性があります。また、経年的に影響が生じる可能性があります。

1. 基本仕様の温度範囲を超える所
2. 周囲湿度が85%を超える所や、85%以下であっても結露する所
3. 水、直射日光（紫外線）が当たる所
4. 振動や衝撃の多い所
5. 過度な荷重がかかる所
6. ノイズやサージを発生する機械のある所
7. 強電界、強磁界の発生する所
8. 塩害の恐れのある所
9. 医療用機器など人命、財産に重要な影響を及ぼす電気機器等が使用されている所
10. 本製品は日本国内専用です。日本国外で使用はできません。
11. 埃（特に鉄粉やカーボンなどの導電性の粉塵）やアンモニア、亜硫酸ガスなどの腐食性ガスの多い所
12. 屋外（屋外をご検討する場合は、弊社担当までご相談ください。）
13. 本製品は常時通電が前提のシステムです。停電する場所に設置しないでください。

◆ 保守・点検・廃棄上の注意事項



- 保守・点検は電源を確実に切ってから行ってください。
- 保守・点検は電気工事士の資格を有する者が行ってください。
- 保守・点検は定期的に（年1回程度）行ってください。
- 端子の締め付けが緩んでいたりすると、火災などの事故の原因となります。



- 本体に関する電源プラグ、コンセントについては、緩み・埃・湿気などによる絶縁不良、接触不良などが発生しないよう点検してください。
- 経年によりケースが変色する場合がありますが、性能に影響はありません。



分解禁止

- 分解、改造やご自身での修理は絶対に行わないでください。



電源を切る

- 異常が起きた時には電源を切り、電気工事士の資格を有する者に連絡してください。そのまま使用すると、火災や負荷機器への悪影響の原因となります。
- 系統切り替え等で自家発電機を使用する場合は、本製品に接続するブレーカは OFF にしてください。システムが正常に動作しない可能性や装置が故障する場合があります。



注意

- 廃棄する場合は、産業廃棄物として処分してください。各自治体の区分に従って処分して下さい。
- 本装置の部品、付属品は紛失しないようご注意ください。



確認

- 本システムの運用開始後、設備保守による停電時間は8時間以内としてください。それ以上停電する場合、装置内の時刻情報が失われ、再セットアップが必要になることがあります。

◆ 運搬・保管上の注意事項



注意

- 強い振動、衝撃を与えないよう、運搬してください。
- 運搬には梱包されていたダンボール箱に収めた状態で運んでください。また、ねじ類の締め忘れにはご注意ください。
- 腐食性ガス、振動衝撃のある場所、強い誘導ノイズ、電界、磁界などが発生する場所には保管しないでください。
- 基本仕様の温湿度範囲を超える場所には保管しないでください。
- 雨水（水滴など）、油、その他塵埃、粉塵などの直接かかる場所には保管しないでください。

2. 施工上のご注意

(1) 共通事項

- ◆ 取付配線工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。電気事業法・電気設備に関する技術基準にしたがって施工してください。
- ◆ 静電気で製品を破壊しないように十分注意し、施工を行ってください。
- ◆ 機器の定格（電圧、電流、周波数、相線式）をご確認ください。
- ◆ 電源（電源側開閉器）を切ってから、本書に示す接続例に従って接続してください。
- ◆ 端子ねじ等は、本書に示す締め付けトルクで確実に締め付けてください。締め付け不良があると、熱が発生し、火災となる恐れがあります。
- ◆ 接続が正しいことを確認してから、電源を入れてください。
- ◆ 配線を途中で継ぎ足さないでください。
- ◆ 感電防止のために、充電部（端子台等）を絶縁シートで養生してください。また、作業終了後は必ず絶縁シートを取り外してください。
- ◆ 自家用発電機で動作させる際は電源を切ってください。ノイズ等で破壊の恐れがあります。

(2) PLC 方式

- ◆ 本製品には、電波法施工規則第 46 条の 2 第 1 項の規定に基づく認証を受けた特別搬送式デジタル伝送装置が組み込まれています。分解・改造を行いますと法律違反となり、法律に基づき罰せられる恐れがございますので絶対に行わないでください。
- ◆ 本システムを使用できる電力線は、以下の条件を満たす必要があります。
 - 受変電設備を有する建物であること
 - お客様の敷地内であること
 - 単相 2 線式または単相 3 線式 AC100V/200V、三相 3 線式 AC200V のいずれかであること
- ◆ 三相 3 線式の電力線に接続して使用する際は、個別に「高周波利用設備設置許可」の申請が必要になります。手続きに関しては、総務省ホームページの下記 URL にてご確認できます。

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/kanto/other/koshuha/tetsuduki/setti.html>

※2019 年 8 月 8 日現在

- ◆ 低圧トランスとコンセントレータの配線距離は、10m 以内としてください。
- ◆ 原則、同一低圧トランス内に複数台のコンセントレータを設置はできません。
- ◆ 弊社のシステムではスマートメーター以外の各種通信機器は、単相は AC200V に、三相は R 相 T 相の AC200V に接続してください。
- ◆ PLC の通信距離は最長 100～500m です。
通信距離は使用環境によって異なりますので、スマートメーターリングシステム機器の設置方法などについては、事前に弊社にご相談ください。なお、スマートメーター間はマルチホップで通信します。
- ◆ 電力線上のノイズなどについては、十分に技術的な対策を行っておりますが、電源環境により一時的に通信ができない場合があります。
- ◆ 医療用機器など人命、財産に重大な影響を及ぼす電気機器等が使用されている所への導入はできません。

- ◆ 外部アンテナが付属されている製品は、必ず接続の上ご使用ください。
- ◆ 同一の施設内に他社の電力線を利用した通信システムとの併用をご検討する場合は、弊社担当までご相談ください。
- ◆ スコットトランス等がある場合、灯動共用のトランスに設置する場合、その他ご不明点がある場合は弊社へご相談ください。

(3) 無線方式

- ◆ 本製品には、電波法 38 条の 24 第 1 項の規定に基づく認証を受けた無線機が組み込まれています。以下の行為を行いますと法律違反となり、法律に基づき罰せられる恐れがございます。
 - ・本製品を分解、改造すること。
 - ・本製品の証明ラベルを剥がす、改ざんなどの行為を行うこと。
 - ・本製品のアンテナを異なるものへ交換すること。
- ◆ 電波法に基づき無線設備の証明を取得しているため、使用の際に免許を申請する必要はありません。
- ◆ 本無線方式の電波により誤動作する恐れがある機器・装置の近くでは使用しないでください。
- ◆ 医療用機器など人命、財産に重大な影響を及ぼす電気機器等が使用されている所への導入はできません。
- ◆ 設置周囲の電波環境により一時的に通信ができない場合があります。
- ◆ 無線機器・アンテナを遮蔽物となる金属物の直近に配置しないようご注意ください。
- ◆ 同一の施設内に他社の無線を利用した通信システムとの併用をご検討する場合は、弊社担当までご相談ください。
- ◆ 外部アンテナが付属されている製品は、必ず接続の上ご使用ください。

3. 保証

(1) 保証期間

保証期間は、**納入後 1 年**といたします。

(2) 保証範囲

上記の保証期間中に納入者側の責により故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換、または修理を無償で行います。

ただし、次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

- ◆ 需要者側の不適当な取扱い、ならびに使用による場合。
- ◆ 故障の原因が納入機器以外の事由による場合。
- ◆ 納入者以外の改造、または修理による場合。
- ◆ その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合。

なお、ここでいう保証は、納入機器単品の保証を意味するもので、納入機器の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

(3) 生産中止後の取扱い

生産中止後の修理対応期間を5年間といたします。但し、5年以内であっても修理用部品在庫が無くなった場合、修理対応ができなくなる場合がございます。

(4) 有償業務の範囲

次のような場合は、別途費用を申し受けます。

- ・ 装置取付に伴う施工指導、試運転立ち合い、初期設定発生した場合。
- ・ 施工不良による弊社現地調査及び是正作業が発生した場合。
- ・ 保守点検、調整が発生した場合※納入者側の責にあらざる場合。
- ・ 技術指導、及び技術教育が発生した場合。
- ・ 本装置に付属の取扱説明書などの再発行または、発行部数の追加

4. SMS-CR2 基本仕様

複数台のスマートメーターの通信管理を行う機器です。PLC 方式は一部区間において限定的ながら無線方式を使用しています。

4-1. SMS-CR2 (PLC) 基本仕様

表 4-1-1 RNU-045 基本仕様

仕 様	内 容
名 称	SMS-CR2 (PLC)
形 名	RNU-045
製造番号	XR***** (通番 8 桁、末尾 3 桁で製造時期を示す)
上位通信仕様	
通信インターフェイス	Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX
下位通信仕様	
準拠規格	ARIB STD-T84 ARIB STD-T108
型式認定番号	第 AH-17002 号
工事設計認証番号	001-A11219
接続台数	最大 128 台 ※最大台数を超えないようにシステム設計してください。 ※SMS スマートパルス入力端末では 1 ポート台数 1 台
外部アンテナ	920MHz 帯無線用アンテナ (装置に付属) ※付属品以外不可
外形仕様	
外形寸法	110 (W) × 160 (H) × 60 (D)
取付方法	壁掛け型
質 量	450g (アンテナ含む)
電源仕様	
定格電圧	AC100V/200V±10%
定格周波数	50Hz±2%、60Hz±2%
消費電力	15VA 以下
環境仕様	
使用温度範囲	-10~50℃
使用湿度範囲	85%以下 (結露なきこと)
付属品	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部アンテナ × 1 本 ・ 木ねじ (φ4.1 × 20mm) × 3 本 	

4-2. SMS-CR2(無線) 基本仕様

表 4-2-1 RNU-046 基本仕様

仕 様	内 容
名 称	SMS-CR2(無線)
形 名	RNU-046
製造番号	XS***** (通番 8 桁、末尾 3 桁で製造時期を示す)
上位通信仕様	
通信インターフェイス	Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX
下位通信仕様	
準拠規格	ARIB STD-T108
工事設計認証番号	001-A11219
接続台数	最大 256 台 ※最大台数を超えないようにシステム設計してください。 ※SMS スマートパルス入力端末では 1 ポート台数 1 台
外部アンテナ	920MHz 帯無線用アンテナ(装置に付属) ※付属品以外不可
外形仕様	
外形寸法	110 (W) × 160 (H) × 60 (D)
取付方法	壁掛け型
質 量	450 g (アンテナ含む)
電源仕様	
定格電圧	AC100V/200V±10%
定格周波数	50Hz±2%、60Hz±2%
消費電力	15VA 以下
環境仕様	
使用温度範囲	-10~50℃
使用湿度範囲	85%以下 (結露なきこと)
付属品	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部アンテナ × 1 本 ・ 木ねじ (φ4.1 × 20mm) × 3 本 	

4-3. 各部名称とLED表示

図 4-3-1 に各部名称、表 4-3-2、表 4-3-3 に LED 表示を示します。

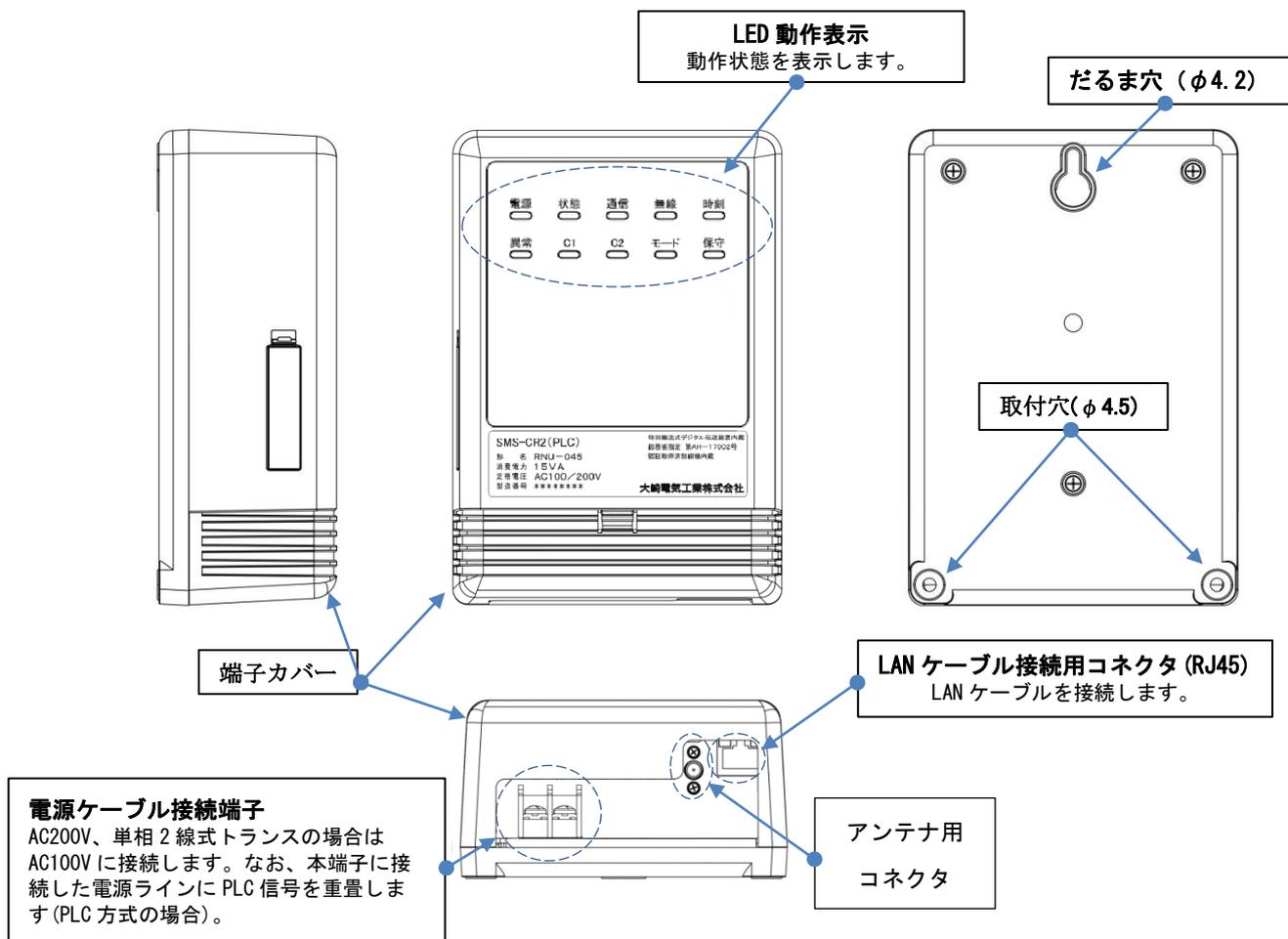


図 4-3-1 SMS-CR2 各部名称 (PLC 方式および無線方式で共通)

表 4-3-2 LED 表示 (PLC 方式の場合)

名称	色	表示	内容
電源 (HW 制御)	緑	消灯	電源断
		緑点灯	運用状態
状態 ^(注1)	緑	緑点灯	イーサネット初期化異常
		緑点滅(周期 2s)	SMS サーバ通信異常時 または FTP 通信異常時
		緑点滅(周期 0.5s)	NTP サーバ通信異常時
		消灯	通常時
通信	緑	点灯	PLC 通信モジュール間通信中(送受信)
		消灯	通常時
無線	緑	消灯	未使用
時刻	緑	緑点灯	時刻設定済・電源同期信号正常
		緑点滅	時刻未設定 (初期起動から 1 度も時刻設定されていない場合)
		消灯	時刻設定済・電源同期信号異常
異常 ^(注2)	赤	赤点灯	ネットワークアドレス読出し異常発生
		赤点滅(周期 0.5s)	メーター間通信異常発生中
		赤点滅(周期 1s)	通信モジュール異常発生中
		赤点滅(周期 2s)	設定データ異常発生中
		消灯	通信異常未発生
モード	緑	緑点灯	上位装置なし (HTTP サーバ接続、FTP 接続) 設定
		消灯	上位装置あり (データ収集装置) 設定
保守	緑	緑点灯	SW501: 保守
		消灯	SW501: 運転
C1 ^(注3)	緑	緑点滅	メーター間通信中(送信)
		消灯	無通信
C2 ^(注3)	緑	緑点滅	メーター間通信中(受信)
		消灯	無通信

(注1) 複数の異常が発生している場合、

表示内容の優先度は①緑点灯②緑点滅(周期 2s)③緑点滅(周期 0.5s)の順となります。

(注2) 複数の異常が発生している場合、

表示内容の優先度は①赤点灯②赤点滅(周期 2s)③赤点滅(周期 1s)④赤点滅(周期 0.5s)の順となります。

(注3) C1_LED、C2_LED は通信モジュールが制御します。

表 4-3-3 LED 表示（無線方式の場合）

LED 名称	表示状態	説明
電源	消灯	電源切
	緑点灯	電源入
状態	消灯	電源切
	緑点滅	起動中(0.5秒点滅)、保守(1秒点滅)
	緑点灯	運用
通信	消灯	待機中
	緑点灯	パケット通信中(注1)
無線	消灯	通信ユニット未接続
	緑点滅	タイムスロット「定例2秒」「随時2秒」
	緑点灯	タイムスロット「P2P 2秒」
時刻	消灯	時計未設定
	緑点滅	時計設定済(時計Aと時計Bがずれている)
	緑点灯	時計設定済(時計Aと時計Bが同じ)
異常	消灯	固定
C1	消灯	固定
	緑点灯	通信モジュール起動中
C2	消灯	固定
	緑点灯	通信モジュール起動中
モード	消灯	固定
保守	消灯	固定

(注1) パケット受信あるいはパケット送信から0.2秒間LED点灯させます。

4-4. 外形寸法図

図 4-4-1 に外形寸法図を示します。外形寸法は PLC 方式、無線方式で共通です。

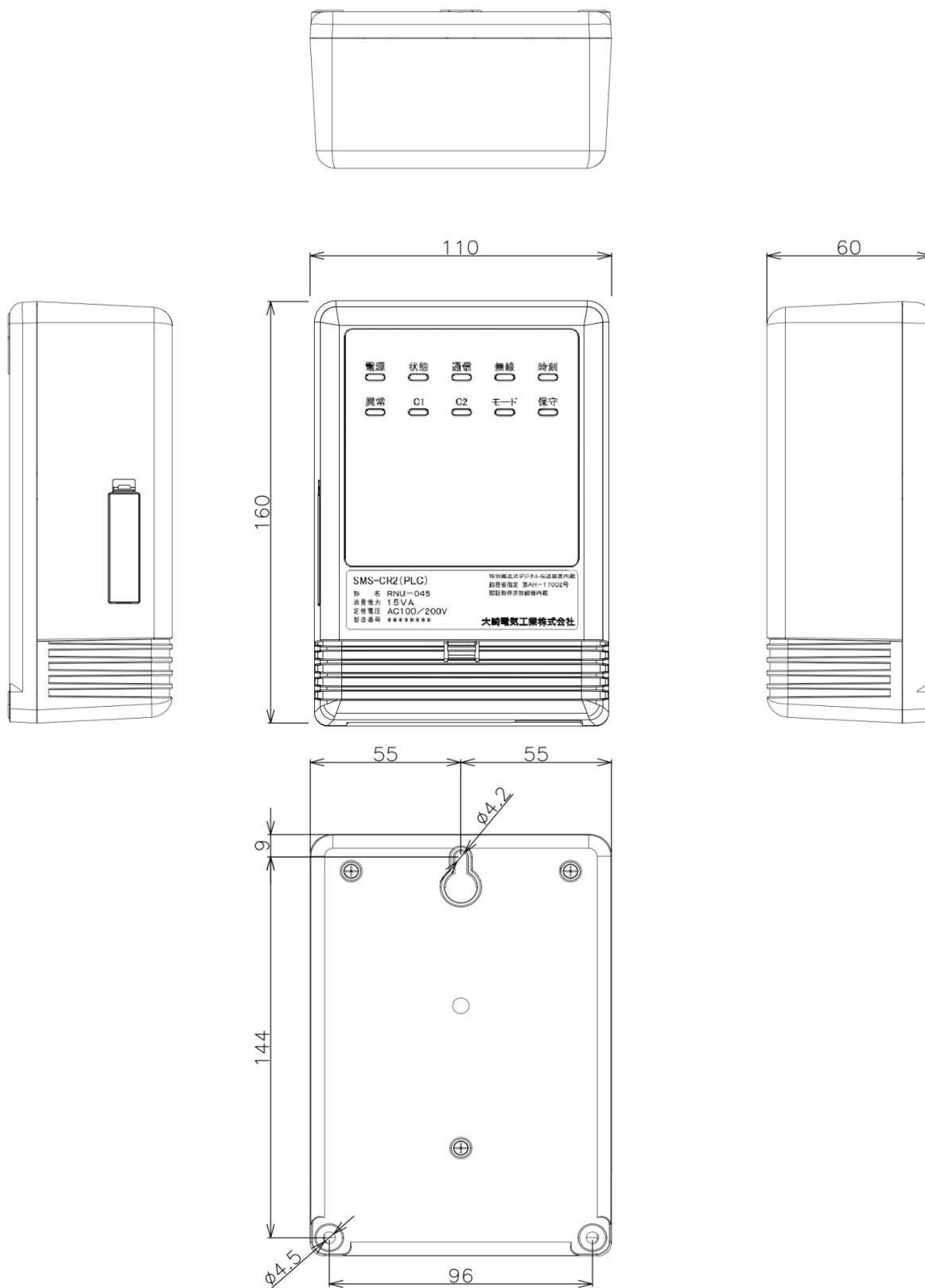
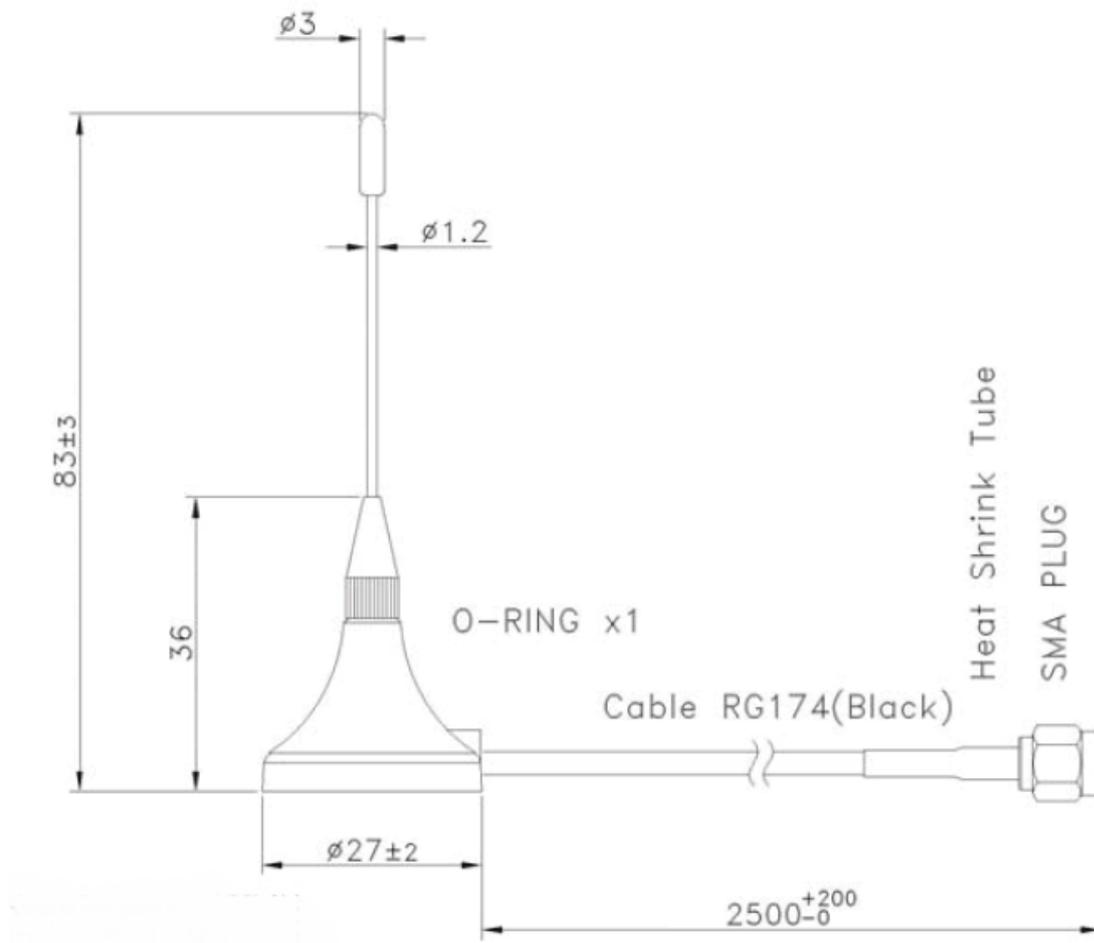


図 4-4-1 SMS-CR2 外形寸法図 (PLC 方式および無線方式で共通)

4-4-1. 付属アンテナ



UNIT : mm

5. 施工説明(手順⑤までは PLC 方式および無線方式共通)

【手順①】 本体設置

取付面に付属ねじで固定します。

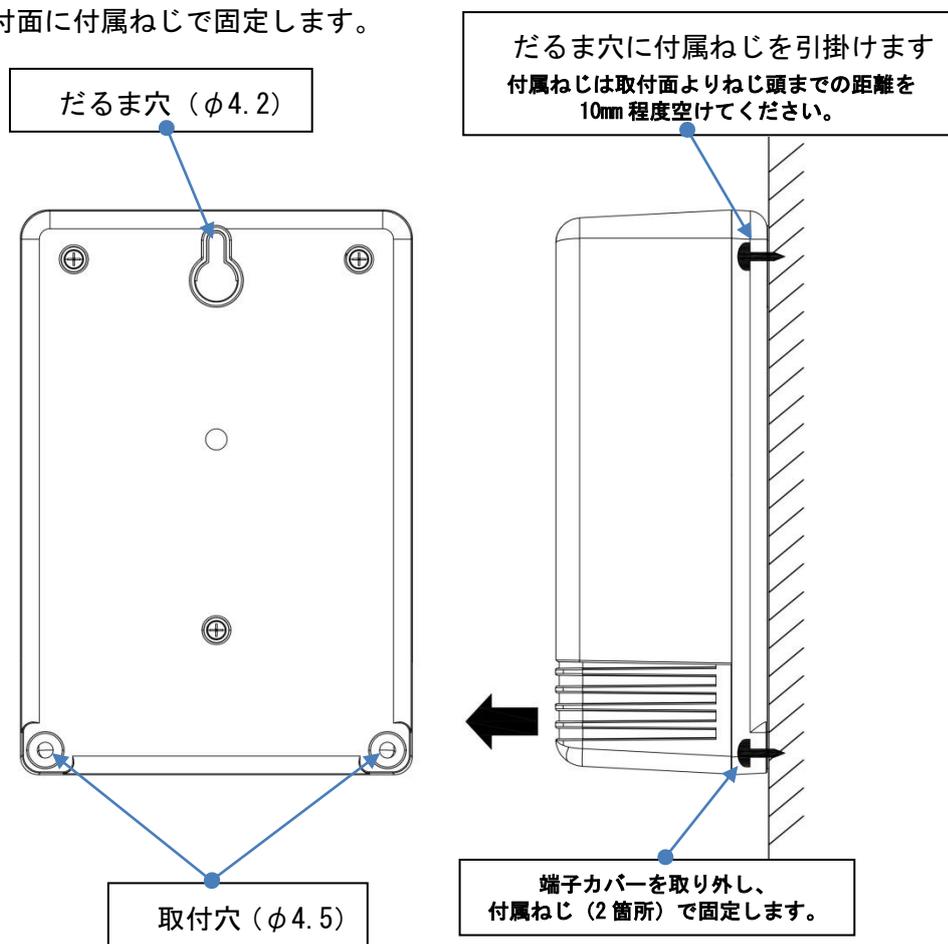


図 5-1-1 本体設置



必ず守る

本体の取り付けに際しては、図 5-1-2 に示すメンテナンススペースを確保してください。確保できない場合、設置後のメンテナンスができない恐れがあります。

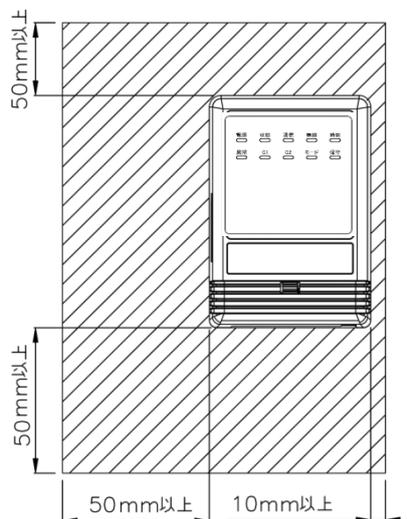


図 5-1-2 メンテナンススペース

【手順②】電源保護用開閉器（ブレーカ）の設置と配線



注意

電源接続は必ず保護用開閉器（ブレーカ）を設けて接続してください。設置時は下記ポイントに注意してください。

ブレーカ容量	主幹ブレーカ容量よりも小さいものかつ 15A 以上	
配線距離	トランスまで 10m 以内	
ケーブル種類	断面積 2.0mm ² (sq) 以上 ※単線は使わないでください。	
推奨圧着端子	丸型（絶縁被膜付） 丸型＋絶縁チューブ	内径φ4.3mm以上 外径φ8.0mm 以下
電圧	単相：AC200V、三相：R相 T相 AC200V	

電源（ブレーカ）は施工完了時に ON にしてください。



必ず守る

接続対象となるトランスから、10m 以内でケーブル敷設してください。

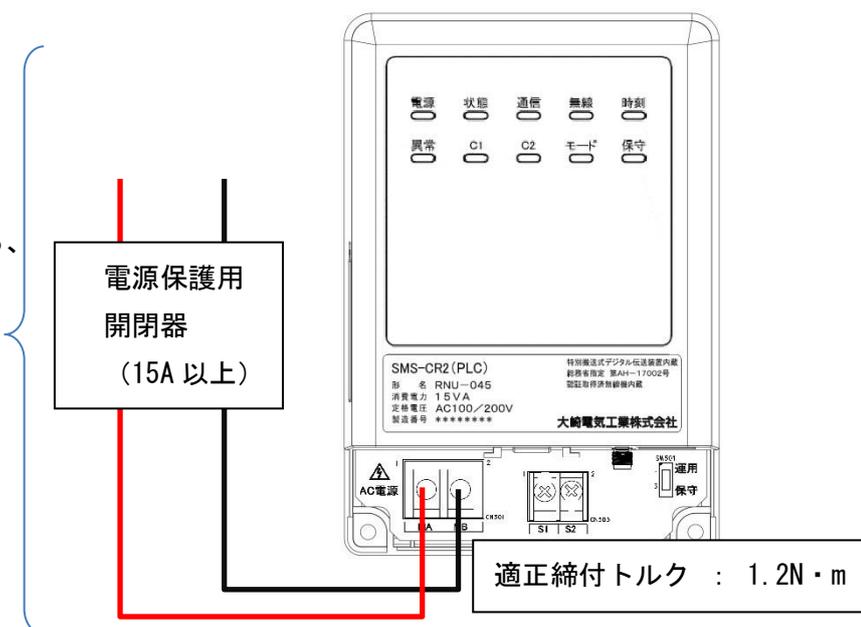


図 5-2-1 電源保護用開閉器（ブレーカ）の設置

《電源ケーブル接続時の注意事項》



注意

- ◆ 電源ケーブル接続は、保護用開閉器（ブレーカ）を OFF にして結線作業を行ってください。
- ◆ 電源ケーブルは「MA」「MB」端子にしっかりと接続してください。
- ◆ トランスまでの電源ケーブルは、10m 以内としてください。
- ◆ 電源相は 1S(R 相)と 3S(T 相)に接続してください。作業後は、必ず端子カバーを取り付けてください。

【手順③】 外部アンテナの接続と設置

外部アンテナの SMA コネクタを下図 5-3-1 の通り接続してください。金属面がない場合は金属製 L アングル金具等 (TK25-L2CP など (トラスコ中山 製)) を取り付けてから設置してください。

※PLC 方式の場合も必ず接続してください。

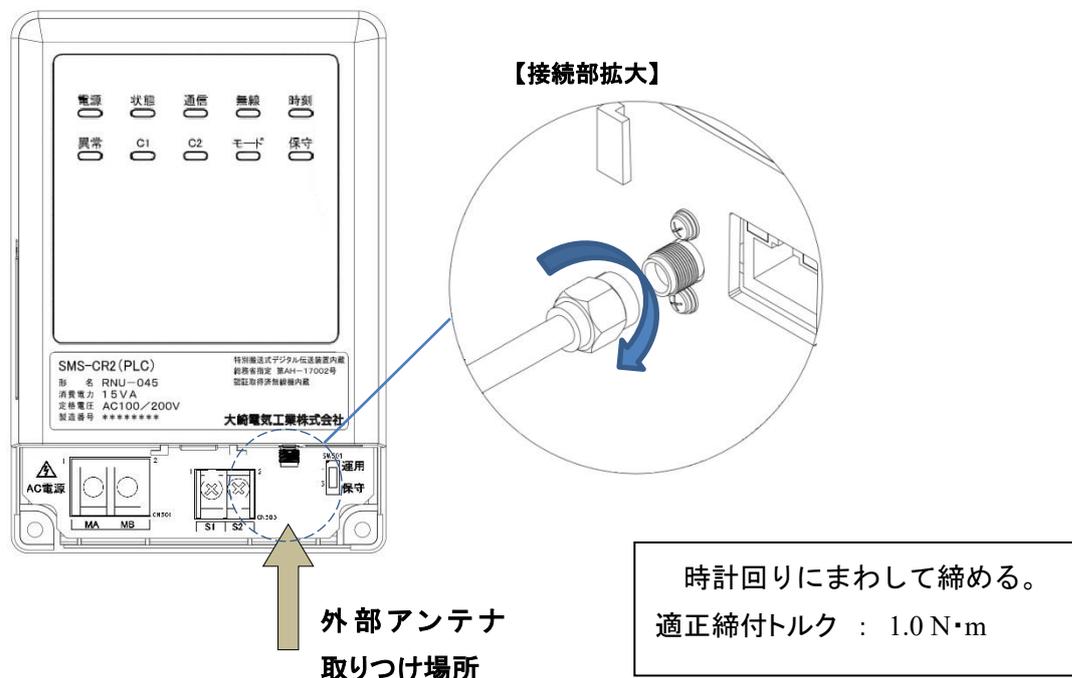


図 5-3-1 外部アンテナの取り付け

表 5-3-2 外部アンテナ仕様

920MHz 帯無線用アンテナ	
長さ	2.5 m
延長ケーブル	延長は不可
推奨 L アングル	TK25-L2CP など (トラスコ中山 製)

《外部アンテナ接続時の注意事項 (共通)》



- ◆ 外部アンテナのコネクタは適正トルクを守り、確実に接続してください。締め付け不良があると、通信不良の原因になります。
- ◆ アンテナは地面に対して鉛直になるよう設置してください。
- ◆ 性能確保のため目安としてアンテナの周囲 10 cm には金属物が無い場所へ設置してください。
- ◆ 複数の外部アンテナを設置する場合は、間隔を 30cm 以上確保してください。

《外部アンテナ接続時の注意事項（PLC方式）》



- ◆ 装置が金属盤内に設置される場合、**容易ならば盤外にアンテナを設置してください。**
- ◆ 盤の外に出せる場合、第1候補は盤の上面、第2候補は盤の底面、第3候補はLアングルを用いて盤の側面や壁面、または天井へ設置してください。
- ◆ アンテナケーブル長不足や穴開け加工が容易にできない場合は盤内への設置も可とします。
- ◆ 盤内に設置する場合は盤の天井に貼り付けてください。またはLアングルを用いてください。
- ◆ 現地調査の結果で外に出す必要がある場合など、特別な指示のある場合を除きます。

《外部アンテナ接続時の注意事項（無線方式）》



- ◆ 装置が金属盤内に設置される場合は**必ず**アンテナを盤外に出してください。第1候補は盤の上面、第2候補は盤の底面とします。難しい場合はLアングルを用いて盤側面・壁面または天井へ設置をしてください。
- ◆ その他の場合は、Lアングルを使用しアンテナを地面に対して鉛直に設置してください。

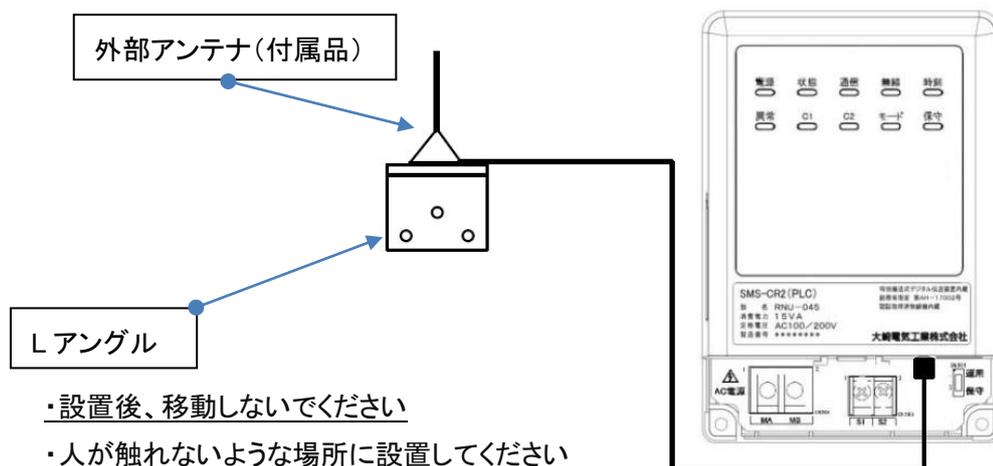


図 5-3-3 外部アンテナの設置（Lアングルを使用した例）

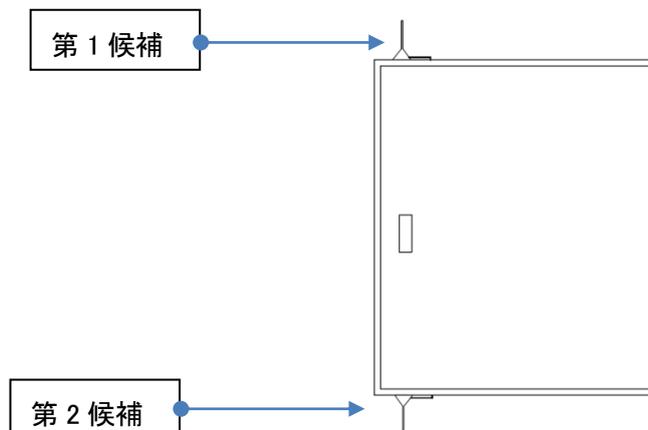


図 5-3-4 外部アンテナの設置（盤の上下面を使用した例）

【手順④】 LAN ケーブルの接続

市販の LAN ケーブルを SMS-CR2 に接続してください。コネクタが「カチッ」と音がするまでしっかりと奥まで差し込んでください。

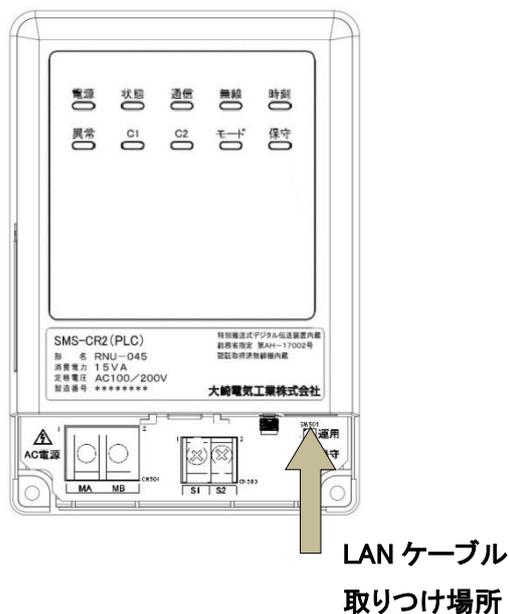


図 5-4-1 LAN ケーブル配線



必ず守る

《LAN ケーブル接続時の注意事項》

- ◆ LAN ケーブルはカテゴリ 5 以上とし、両端は RJ45 コネクタにて成端処理してください。
- ◆ 機器内に埃や塵などが混入しないように十分注意してください。通信不能となる可能性があります。
- ◆ LAN ケーブルは電源ケーブルと分けて施工してください。
- ◆ LAN 線加工を行う場合は必ずチェッカーを使用して通信確認を実施してください。

【手順⑤】 MU-DM3 との接続（連携運用の場合）

SMS-CR2 につなげた LAN ケーブルを使用して、上位装置（MU-DM3）を接続します。複数台の SMS-CR2 が設置される場合は、市販の HUB を設置して接続してください。

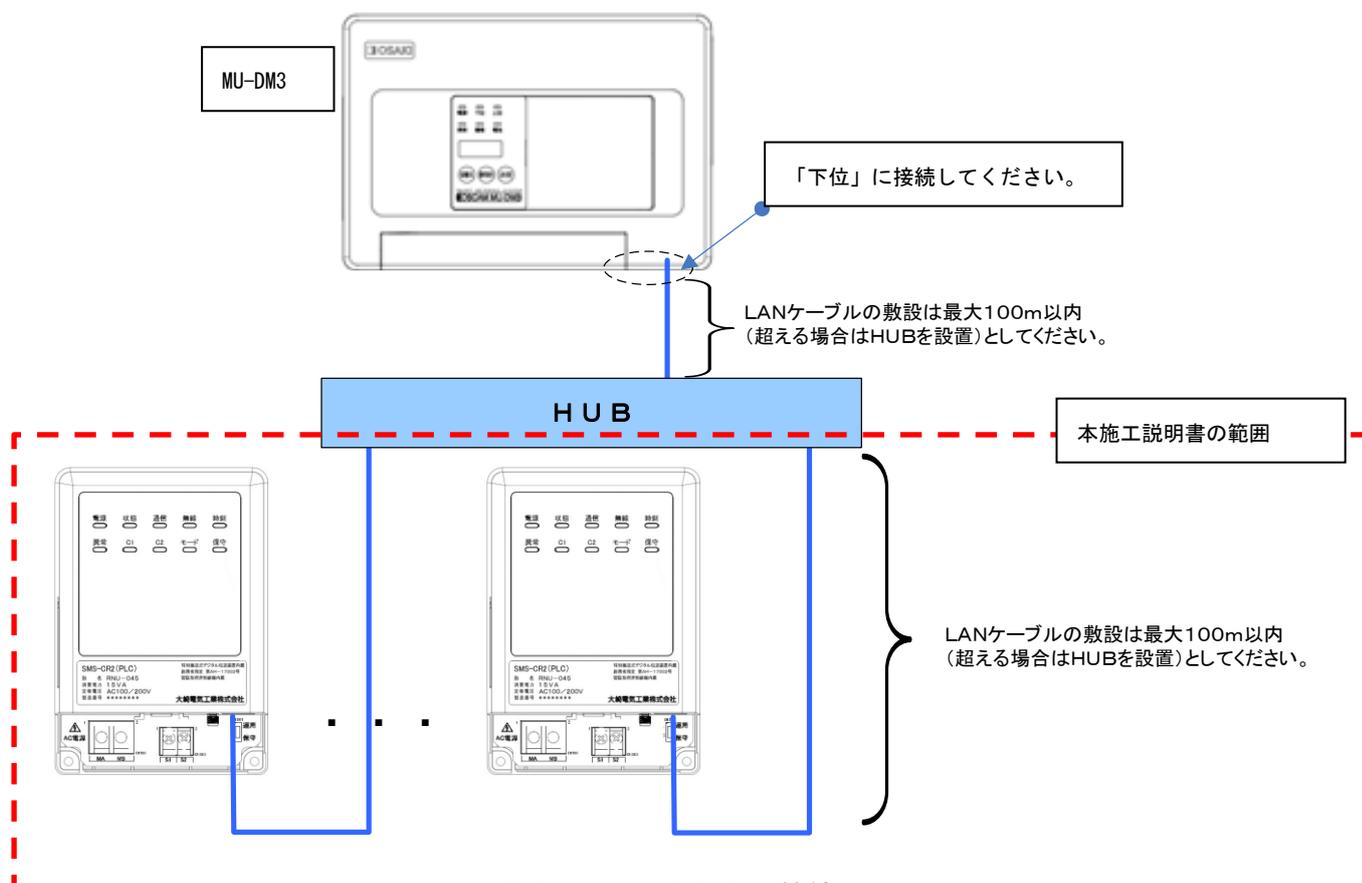


図 5-5-1 MU-DM3 との接続

《ケーブル接続時の注意事項》



注意

- ◆ MU-DM3 は、1 台あたり最大 16 台まで集約装置の接続が可能です。
- ◆ LAN ケーブルはカテゴリ 5 以上とし、両端は RJ45 コネクタにて成端処理してください。
- ◆ MU-DM3 の SMS-CR2 接続用 LAN ケーブルは、下位ポートに接続してください。
- ◆ 作業後は必ず端子カバーを取り付けてください。

【手順⑥】 IP アドレスの設定

■SMS-CR2 (PLC) の場合

【手順⑥-1】PC と SMS-CR2 を LAN ケーブルで接続し、設定する SMS-CR2 (PLC) のブレーカを ON にして、ブラウザから「http://192.168.200.1/」にアクセスしてください。その後、初期設定のユーザーID とパスワードを入力してください。

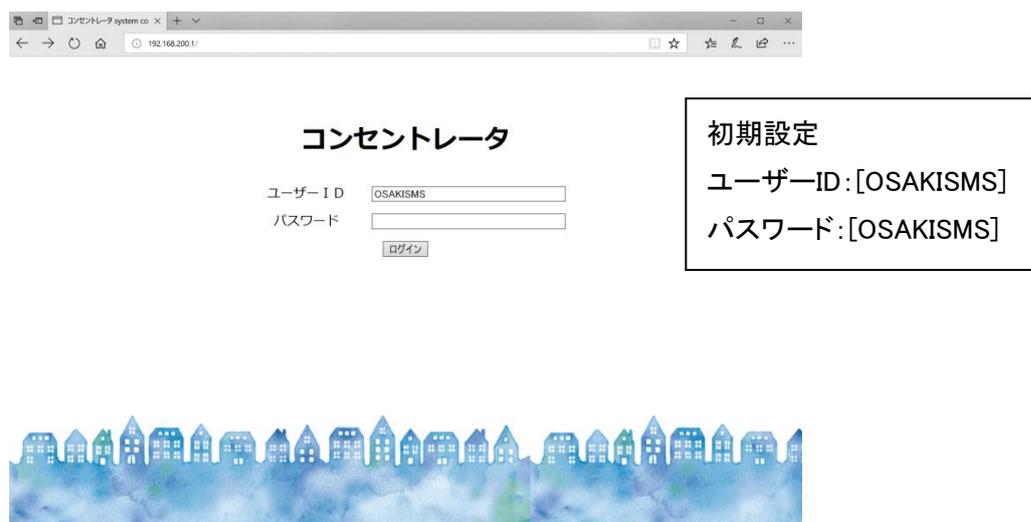


図 5-6-1 ログイン画面

【手順⑥-2】「装置アドレス設定」を選択してください。



図 5-6-2 「装置アドレス設定」選択

【手順⑥-3】「装置アドレス設定」の画面で、設定するアドレスを入力して、「設定」をクリックしてください。

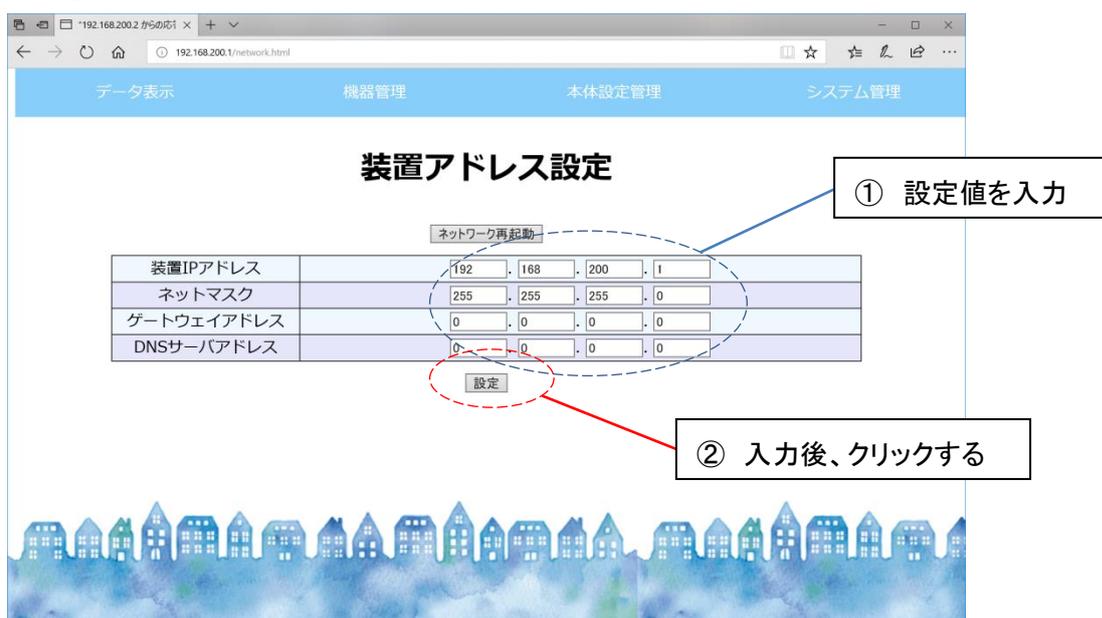


図 5-6-3 「装置アドレス設定」



確認

- 設定するアドレスは間違えないように注意してください。アドレスを間違えますと、通信不良の原因となります。

【手順⑥-4】「ネットワーク再起動」をクリックしてください。

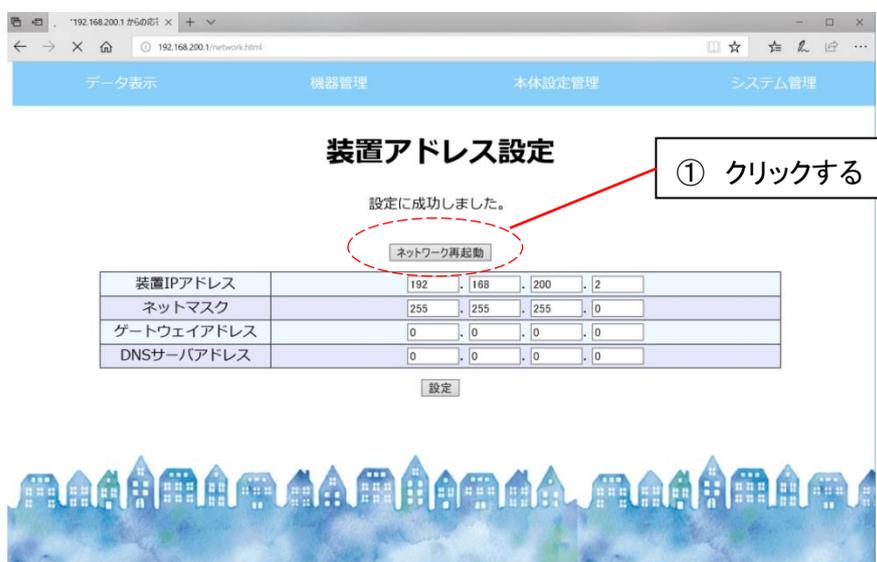


図 5-6-4 「ネットワーク再起動」選択

【手順⑥-5】設定した IP アドレスでアクセスを確認してください。2 台目を設定する場合は【手順⑥-1】から実施してください。

■SMS-CR2(無線)の場合

【手順⑥-1】PCとSMS-CR2をLANケーブルで接続し、SMS-CR2(無線)の端子台のスイッチを「保守」に設定し、ブレーカをONにしてください。
 起動するまでしばらく待ち(約3分)、ブラウザから保守モード画面「<http://192.168.200.1/info>」にアクセスしてください。
 (保守モードのときは「192.168.200.1」固定となります。)

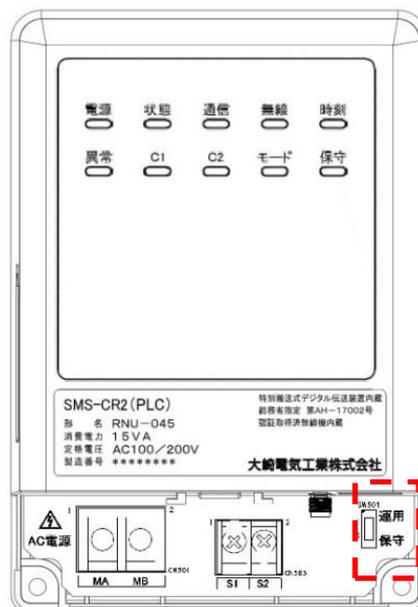


図 5-6-5 スイッチ場所

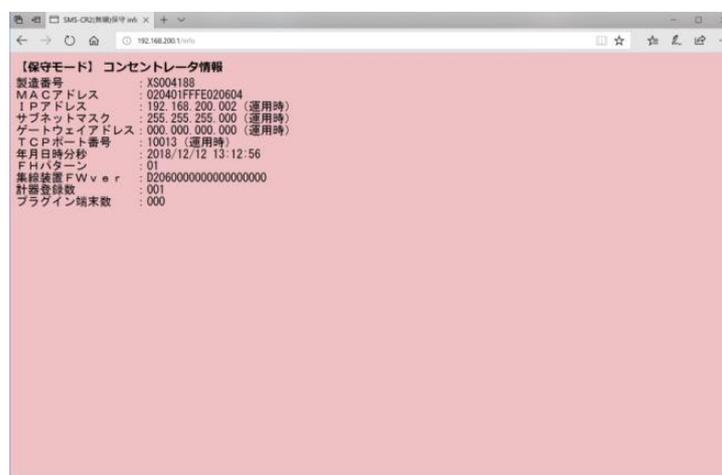


図 5-6-6 保守モード画面表示

【手順⑥－２】保守モード画面にアクセスできることを確認し、「http://192.168.200.1/ip_setup」にアクセスしてください。その後、設定するアドレスを入力して、「設定」をクリックしてください。

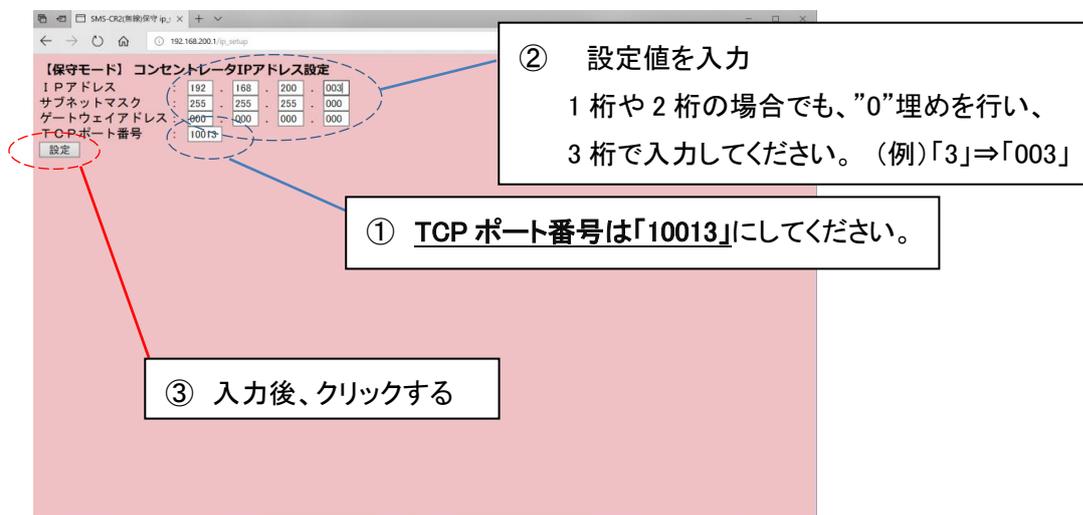


図 5-6-7 IP アドレス設定画面



確認

設定するアドレスは間違えないように注意してください。アドレスを間違えますと、通信不良の原因となります。



図 5-6-8 IP アドレス設定完了

【手順⑥-3】保守モード画面「http://192.168.200.1/info」にアクセスし、設定値の反映を確認してください。（保守モードのときは「192.168.200.1」固定となります。）反映されていない場合は【手順⑥-2】からやり直してください。

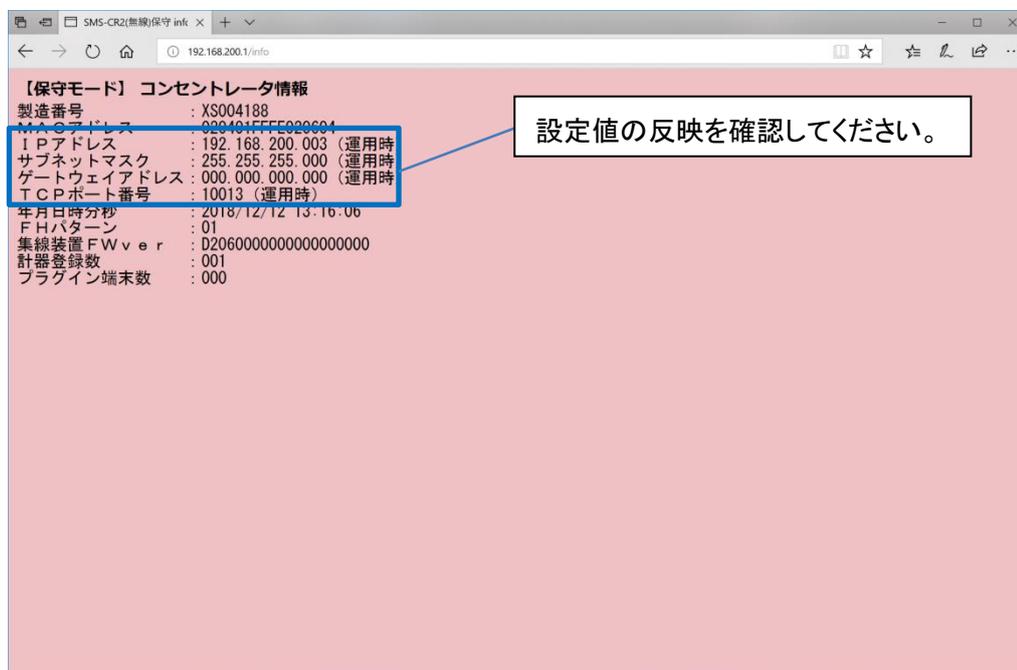


図 5-6-9 設定確認

【手順⑥-4】端子台のスイッチを「運用」に切り替えてください。

【手順⑥-5】起動するまで（「状態」LED が緑点滅から緑点灯になるまで）お待ちください（3分程度）。

【手順⑥-6】運用モード画面「http://(設定した IP アドレス)/info」にアクセスしてください。運用モードへの切り替わりが確認できたら作業は終了です。



図 5-6-10 運用モード画面

以上

※お願い

●本書の内容について、ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

●製品に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。

大崎電気工業株式会社

営業本部 〒141-8646 東京都品川区東五反田 2-10-2 東五反田スクエア

システム・機器部 〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア
電話 (03)3443-7177 FAX(03)3443-0265

仙台営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-5-1 オーク仙台ビル
電話 (022)223-3747 FAX(022)223-8159

名古屋営業所 〒461-0004 名古屋市東区葵3-23-10 千種ファーストビルかとう3F
電話 (052)933-2229 FAX(052)933-0650

大阪営業所 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-9 三栄ビル
電話 (06)6373-2556 FAX(06)6375-0681

沖縄営業所 〒902-0077 那覇市長田1-22-18
電話 (098)832-7406 FAX(098)836-8655

<http://www.osaki.co.jp>